

〔図説〕 松本歯学 33 : 213~215, 2007

key words : 智歯 — 抜歯 — 口底

## 口底部に迷入した智歯の1例

内田 啓一, 黒岩 博子, 杉野 紀幸, 塩島 勝

松本歯科大学 歯科放射線学講座

A case of a wisdom tooth impacted in the floor of the mouth

KEIICHI UCHIDA, HIROKO KUROIWA, NORIYUKI SUGINO and MASARU SHIOJIMA

*Department of Oral Radiology, School of Dentistry, Matsumoto Dental University*

智歯抜去は歯科口腔領域において日常的に行われており, 時として偶発症を生じることがある. こうした偶発症は局所的なものから全身的なものがあり, その対処には慎重に対応すべきである. 今回, われわれは, 下顎智歯抜去中に歯牙が口底部に迷入した1例を経験したのでその画像と共に報告する.

患者は26歳の女性. 2006年2月上旬に歯科医院にて下顎左側第三大臼歯の抜去を行った. その後, 開口障害を自覚するようになったため, 2006

年2月23日精査目的にて本院を受診した. 受診時に下顎左側第三大臼歯部の抜歯窩の発赤, 腫脹, 疼痛や出血は認めなかった. また開口量は三横指であり軽度の開口障害を認めた. 受診時のパノラマエックス線写真, 下顎骨側斜位写真において下顎骨下内方に歯牙様のエックス線不透過像を認めた(写真1 a, b). またCT画像では, 下顎左側舌側皮質骨の一部消失を認め(写真2 a), 左側口底部に歯牙様の不透過像を認めた(写真2 b). MPR (Multi Planar Reformat) 画像におい

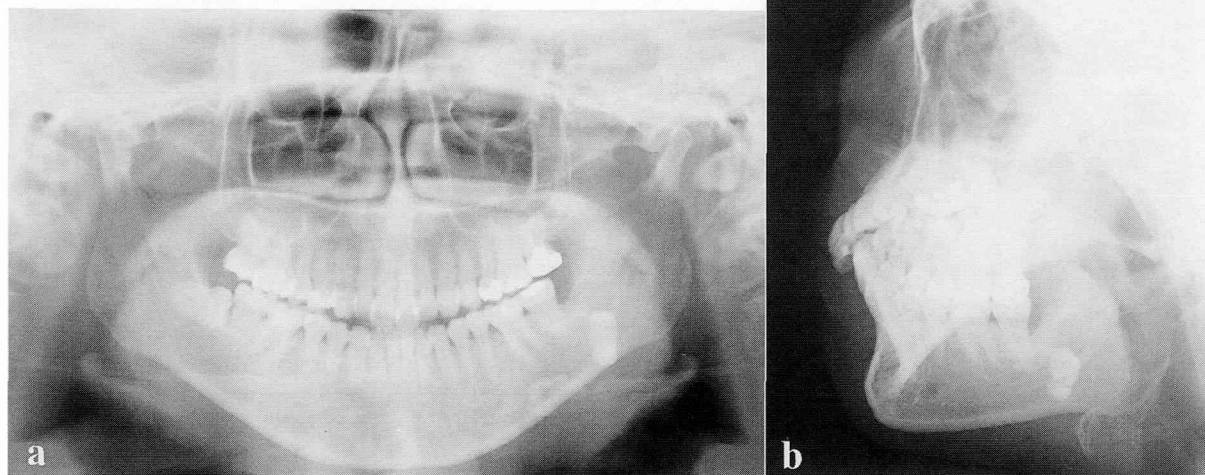


写真1 : パノラマエックス線写真 (a), 下顎骨側斜位写真 (b) において下顎骨下内方に歯牙様のエックス線不透過像を認める.

(2007年7月2日受付; 2007年8月21日受理)

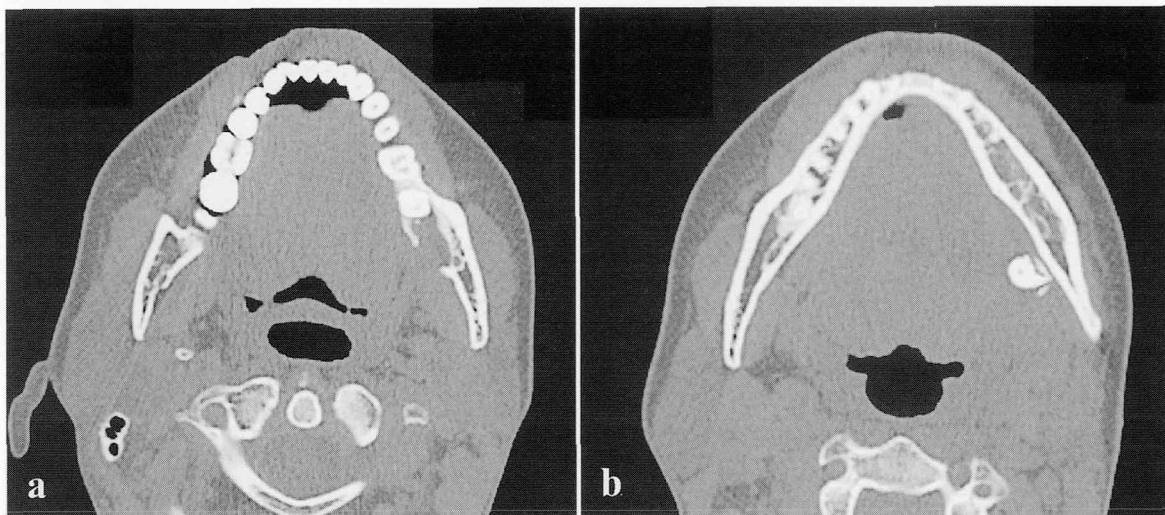


写真2: CT画像では左側舌側皮質骨の消失 (a) と口底部に歯牙様の不透過像 (b) を認める。

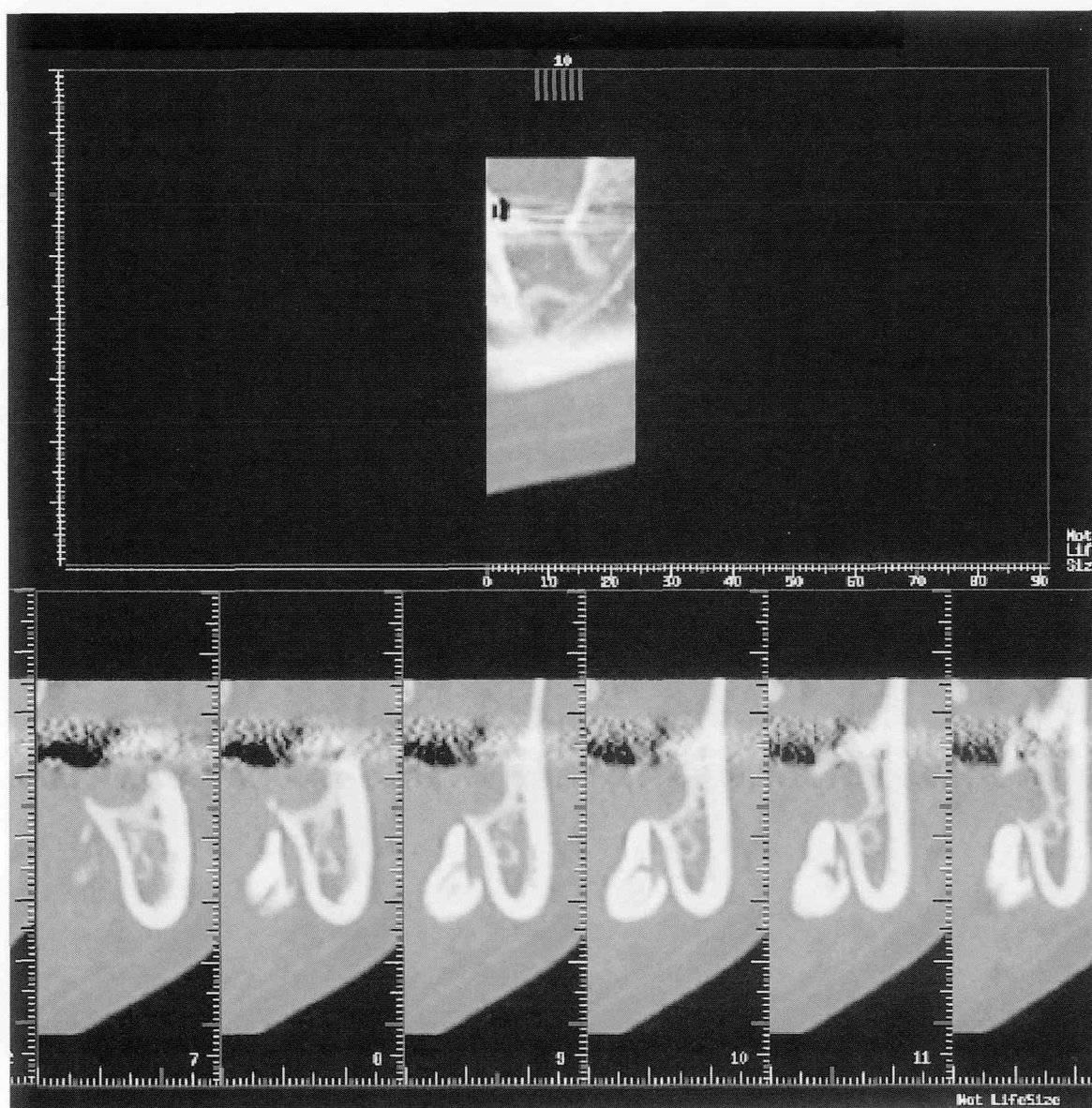


写真3: MPR画像において, 迷入した下顎左側第三大臼歯部の根尖側の一部は顎舌骨筋へ陥入しているのが認められる. 遠心側における下顎管の上壁の粗造部位を認めるが, 画像では明らか破壊像は認めない。

て迷入した下顎左側第三大臼歯部の根尖側の一部は顎舌骨筋へ陥入しているのが認められた。下顎管上壁の粗造な部位を認めるが、画像では明らかな下顎管の破壊像は認めなかった(写真3)。2006年3月2日全身麻酔下にて摘出術を行った。摘出物は下顎左側第三大臼歯であった。

下顎第三大臼歯の抜去時における偶発症としては、下顎管の損傷による下歯槽神経麻痺、口腔軟組織の損傷や出血などがある。また、歯科治療中における軟組織部への異物の迷入には、抜歯時におけるカーバイトバーの破折片あるいは外傷に起因したガラス片やプラスチック片<sup>1)</sup>、稀には、歯牙清掃中に裁縫針が側頭下窩へ迷入した例などの様々な報告がある<sup>2)</sup>。

下顎第三大臼歯の抜去時における周囲軟組織や骨膜下への迷入の原因としては、同部の舌側皮質骨が菲薄であることから、骨性癒着が強い状態、歯根の異常や萌出方向の異常などがある場合に、強い力による誤った抜歯操作を行うことにより発生すると考えられる<sup>3,4)</sup>。

抜歯による偶発症を未然に防ぐためには、抜去する歯や周囲組織の状態を十分に診察することである。これはその他の歯科疾患の診察と同様に、口腔内診査やエックス線写真による歯や周囲組織の状態を適切に検査することである。こうした検査情報から抜歯の難易度の判断や適切な手術法の選択あるいは偶発症の可能性とその対処について

検討しておく必要がある。

異物の迷入の確認においては、その位置や方向と共に周囲の軟組織部の局在診断にはエックス線検査は重要である。咬合法は口底や顎骨外部へ迷入した異物の診断には簡便な画像診断法であるが、正確な位置や下顎骨の舌側皮質骨の状態などを診断するにはCT検査が有用である。とくに今回の症例のように異物の摘出において、MPR (Multi Planar Reformat) 画像は術者への情報も多く大変有用であった。

## 文 献

- 1) 田島 徹, 嶋田 淳, 清水麻斎子, 野玉智弘, 南 清和, 金井 靖, 森 一将, 相原悦二郎, 正田久直, 龍田常康, 竹島 浩, 坂本栄一, 安井利一 (2004) 智歯分割抜歯時にバー破折により破折片が顎骨内および頬粘膜内に迷入した2例. 日口診誌 **17**: 120-3.
- 2) 池田久住, 飛田尚慶, 大場誠悟, 野中美保子, 藤澤昭彦, 柴原清隆, 山田桂子, 井口次夫 (2006) 側頭下窩迷入異物(裁縫針)の1例. 日口診誌 **19**: 126-8.
- 3) 中野徳己, 白土雄司, 利谷幸治, 立石康一郎, 福元俊輔, 大石正道 (2003) 軟組織内迷入智歯の3例. 日口診誌 **16**: 340-4.
- 4) 草間幹夫, 上野泰宏, 塚原 拓, 伊藤弘人, 神部芳則, 大橋一之 (2003) 抜歯操作により口底部に迷入した下顎埋伏智歯の2例. 栃木県歯科医学会誌 **55**: 15-8.